

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 470 号	氏名	橋本 亘
学位審査委員	主 査	副 査	副 査
	蒔田 直昌	前村 浩二	小澤 寛樹
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、機械弁置換術を施行された高齢者の追跡調査を行い合併症、予後、QOL 及びワーファリンコンプライアンスを調査したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 長崎大学病院において 1969 年から 1997 年までに機械弁置換術を施行した追跡可能な現在 80 歳以上の 52 例について、予後、人工弁関連合併症の有無、ワーファリンコンプライアンスを調査し、複数の評価方法を用いて QOL を点数化したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で平均 12.4 年追跡調査した結果、生存 21 例、遠隔死亡 31 例、だったが、人工弁関連合併症は年間 1.8%と低く、ワーファリンコンプライアンスおよび QOL は総じて良好だった。一般に、高齢者の弁置換術には生体弁が用いられるが、機械弁も比較的良好な予後と QOL をもたらすことから、適応をさらに検討すべきことを示唆するものであり、今後の循環器外科学研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は循環器病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			